

東松山市自治会連合会

自治会だより

第19号

令和6年1月1日発行



あいさつ

東松山市自治会連合会 会長 戸森 健治

皆様 謹んで新春をお祝い申し上げます。

日頃より、自治会連合会に対しましてご理解ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年5月新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行され、感染対策は個人の判断に委ねられました。アフターコロナへの転換に伴い、多くの活動が正常化の方向に進んできたことから、コロナ禍で中止していた夏祭りや市民体育祭などの地域活動は概ね再開されました。各地区の夏祭りは、久しぶりの祭りを楽しむ大勢の人で賑いました。

このような中、自治会連合会は防災をテーマにして、総会時には「被災から地域を考える」を演題に、サマーセミナーでは「過去の災害から学ぶ自治会の役割と初動の対処」を演題に講演会を開催し、秋には東京臨海広域防災公園他の視察研修を実施しました。地域の防災活動の参考になるものと思っています。

ところで、昨年は様々なビッグイベントがありました。その中で特に、WBCでの大谷選手と佐々木選手が見せた相手への思いやりが印象にあります。私たちは人との関わりの中に生きていますので、相手を思いやる気持ちの広がり大切に思います。また、将棋の藤井八冠独占という偉業が成し遂げられました。終局後、藤井八冠は「この苦しいシリーズの経験を糧に引き続き実力をつけていくことが大切」と話しました。社会の転換期にあって、私たちも直面している諸課題に対して「一手一手」を積み重ね、努力が解決につながっていくと感じています。

結びに、皆様にとりまして、今年が良き年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



あいさつ

東松山市長 森田 光一

東松山市自治会連合会の皆様には、日頃から市政推進に多大なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。また、それぞれの地域で特色のある取組を通じて、地域コミュニティの醸成にご貢献いただいていることに、深く敬意を表する次第です。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な地域活動が中止を余儀なくされてきましたが、地域の皆様のご尽力により、昨年は、その多くが再開されました。

自治会活動はまちづくりの根幹であり、特色ある地域づくりを推し進める上で重要な要素であるため、市といたしましても、地域コミュニティの発展・継承に向けた支援を行ってまいります。

さて、東松山市では本年7月1日に市制施行70周年を迎えます。この節目を契機に、市の将来像である「住みたい、働きたい、訪れたい 元気と希望に出会えるまち 東松山」の実現を目指し、各種施策に全力で取り組んでまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大岡地区

ふれあいの広がり求めて

大岡支部長 森下 博



昨年5月にコロナ感染症が5類に位置付けられ、日常生活に戻りつつある中、当地区の自治会活動も平常に戻し、取り組みを進めました。



納涼盆踊り大会

コロナ禍の3年半余り、多くの事業が中止となる中、再開にあたって改めて事業の是非、開催方法等振り返る良い機会にもなりました。

皆さんが感じられた事と思いますが、コロナ禍では人々の交流が制限され、地域コミュニティの希薄化が進んだように思います。このことは、安心・安全な地域づくりに重要な共助の醸成にとって大きなマイナスであります。高齢化（大岡地区41.2%／市29.8%）が増す大岡地区にとってはなおのことです。

人と人同士、顔が見え・ふれあえる場を作り出していくことは自治会活動の重要な役割の一つであると考えます。花まつり・盆踊り・体育祭・シニアフェスティバル（社協大岡支部主催）・防災訓練等々、多くの行事を通じて笑顔の輪が広がっていたなら幸いです。

今後とも、自治会活動を通じて共助が可能な地域環境を作っていきたいと思えます。



市民体育祭

高坂丘陵地区

高齢化に対する新たな取り組み

高坂丘陵支部長 戸森 健治



■「市民体育祭」～競技から「ウォーキング主体の健康推進イベント」へ！～

4年ぶりの第29回高坂丘陵地区市民体育祭開催に向け、住民の高齢化という地域特性に合わせた内容へと変えるべく推進委員会で検討を重ねました。そして、種目を競技からウォーキングを主体にした健康推進イベントへと変え、大東文化大学スポーツ科学科の協力を得て開催しました。

当日早朝は雨模様で開催が危ぶまれましたが、ウォーキングコース等に特に問題がないことから開催し、300名程の皆様が参加しました。

ウォーキングだけの体育祭は一度2007年にありましたが、今回は大東大の方々から、ウォーキングの方法や機材を使つての実地指導がわかり易く行われました。また、おたのしみ福引もあって楽しいイベントでした。



アスリートの方々とともに

■「高坂丘陵地区第2層協議体」～愛称『丘陵ささえ愛』～

住民が主体となって地域での支え合い・たすけあい活動『丘陵ささえ愛』では、住みなれた地域で暮らしていくために、地区の居場所づくりについて検討を進めてきました。

ウイズコロナでは、地域の見どころの紹介や居場所を周知するための情報誌を発行、健康講座「四股を踏んで身体づくり！」も開催しました。

アフターコロナへの転換に伴い、コロナ禍で中止していた喫茶ルーム「ふれ愛カフェ」を9月に、「お茶のみひろば」を11月に開設しました。両当日は30名ほどの方々が訪れ、おしゃべり等楽しいひと時を過ごしました。



Cafeでの楽しいひと時

高坂地区

賑わいを取り戻した高坂地区の地域行事

高坂支部長 関 克巳



高坂地区は、25の自治会で区長会が構成され、その他に高坂地区で活躍されている各種団体のみなさんで組織されている「高坂地区ハートピアまちづくり協議会」があります。

区長会、ハートピアまちづくり協議会が主体となり、事業計画に基づいた各種行事を開催しています。



納涼盆踊り大会

前年度まで続いたコロナ禍も落ち着きを見せる中、本年度は4月の「物見山つつじまつり」をはじめとし、「民踊まつり」、「納涼盆踊り大会」、「高坂地区市民体育祭」、「文化祭」等を計画通りに開催することができました。

それぞれの行事において、多くの皆様に参加いただきコロナ禍前に戻ったような賑わいとなりました。

このような地域行事を通じて、人と人との繋がりを大切にし、コミュニティの充実を図り、住み良いまちづくりを目指します。

さらに健康・福祉活動を推進し、安心・安全で活気のある地域づくりに努めていきたいと思っております。

地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。



市民体育祭

野本地区

新たな交流に向けての自治会活動

野本支部長 馬場 利行



野本地区は23自治会(25行政区)加入世帯数約2,750世帯(13,500人)の地域で、田圃の多さもあり農業と歴史(野本將軍塚古墳=埼玉県指定文化財)のまちと言われて来ましたが、松山地区に隣接する住宅地を中心に商工業も盛んな地域であります。

野本地区自治会活動もコロナ禍の影響で約3年間、延期や中止が相次ぎましたが、本年度は各自治会で夏祭り等を開催し盛況だったと伺っております。

また、野本支部でも野本地区ハートピアまちづくり協議会を中心とした住民交流の各種イベントを始め、野本地区防災訓練、環境美化運動、花いっぱい運動等の活動を実施しております。中でも夏の納涼盆踊り大会には、多くの方の参加があり、盛り上げていただきました。特に子ども達の参加も多く、新たな思い出づくりになればと願っております。市民体育祭は準備が終了し本番待ちでしたが、悪天候のため無念の中止となり残念です。関係者の皆様のご協力に感謝いたします。



納涼盆踊り大会

最後に野本かかし祭りについてご報告いたします。野本かかし祭りは今年度で第18回を迎え、38体の作品が出品されました。かかし祭り大賞をはじめ、各賞受賞の皆様おめでとうございませう。今年の特徴は、野本小学校の児童の皆さんが教育の一環として参加していただきました。この様に、子どもから大人まで一緒に参加していただくと幸いです。今後も多くの住民の皆様に参加いただけるよう努力いたします。



野本かかし祭り

松山地区

各行事復活に向けて

松山支部長 暮松 靖弘



近年、猛暑や豪雨等の異常気象により、各地で大きな被害を受けました。このことにより、人と人のつながりや地域での連帯意識が重要視されています。

こうした状況下で安心して暮らせる住み良い地域社会を作るためにはしっかりとした地域コミュニティが重要であり、当地区自治会・町内会はお互いを助け合う交流・共助の中心的な役割を果たさねばなりません。松山地区が安心・安全で暮らせるより良い地域社会となるよう、活動してまいります。



自治会花壇(神明町)

このような活動をとおして災害に対する備えの重要性を改めて自覚するとともに、各自治会の皆様に伝えていきたいと思えます。

また、楽しみにしていた第71回市民体育祭は急な雨により大変残念ながら中止となってしまいました。各専門部会、各自治会の役員の皆様には準備等にご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本市では「花」と「ウォーキング」のスローガンがありますが、明るい地域社会と住民の健康を目指す活動に今後とも尽力する所存です。

本年度は、7月に市民活動センターで「災害に備えた講演会」を実施しました。また、10月の視察研修では実際に地震や豪雨等の災害を体験したり、東日本大震災で被災した方の体験談を聞いたりしました。



災害に備えた講演会

平野地区

元気と笑顔が溢れる平野地区に！

平野支部長 亀井 八須司



平野地区では、各自治会における祭典や行事が再開され、賑わいが戻りつつあります。特に、夏の風物詩である夏祭りは数年ぶりの開催ということもあり、各自治会では工夫を凝らしながら実施いたしました。また、東平中山自治会では夏の暑い時期を避け、初めての試みではありますが10月に開催いたしました。各自治会とも、夏祭りを通じて地域住民の親睦をより一層図ることができたかと思えます。



夏祭りの様子

姿にととても感動しました。他にも「花・歩・梨プロジェクト」として、平野市民活動センター南側の滑川左岸に曼殊沙華を植樹し、秋には一面に綺麗に咲いておりますので、ぜひお越しのときはご鑑賞いただきたいと思えます。また、各自治会花壇においても、地域住民の方々の熱心な花いっぱい活動により花壇を華やかにしていただいております。

さらには自治連平野支部事業では、福島県にある「いわき伝承みらい館」や「東日本大震災原子力災害伝承館」に自治会長はじめ役員にて10月に視察研修を行いました。今後の各自治会の地域防災計画を促進する中でとても参考となる内容でした。

自治連平野支部は、今後もコロナと共存した社会の中ではありますが、地域発展のために各事業を展開し、元気と笑顔が溢れる平野地区にしていけたらと思えます。

また、平野地区ハートピアまちづくり協議会事業として、第38回平野地区市民体育祭が5年ぶりに開催され、今までのプログラム内容を見直し、新しいスタイルでの実施となりましたが大変好評でした。特に綱引きや年齢別リレーでは、各自治会が一丸となっている



市民体育祭の綱引き

唐子地区

唐子地区ハートピアまちづくり協議会の各部会

唐子支部長 中村 昭司



唐子地区ハートピアまちづくり協議会には、5つの部会があります。それぞれの部会が会議を持ち、毎年工夫しながら唐子地区の活動、行事を行っています。

花いっぱい推進部会では、各地区の花壇の管理、運営を行い、毎年行っている唐子地区の花いっぱい推進委員研修の企画運営を行っています。今年度は7月にバス2台で、あしかがフラワーパークに行きました。



月例ウォーキング

ウォーキング推進部会では、毎月の月例ウォーキングの企画運営を行っています。毎回下見をし、安全にウォーキングできるよう配慮しています。年末に楽しく歩くことができる来年度の月例ウォーキングのコースの選定を行います。

開発推進部会では、夏の唐子地区納涼盆踊り大会の企画運営を行い、秋には桜の広場でのスナッグゴルフ大会の企画運営を行います。また、今年度から唐子地区文化祭の運営にもあたることになりました。

文化スポーツ部会では、14地区が参加する唐子地区市民体育祭のプログラム決定等、企画運営を行い、毎年秋に行われる青壮年ソフトボール大会の企画運営を行います。

くらし安全部会では、毎年1月に行われる唐子地区防災訓練の企画運営を行い、9月には防災に関する研修会を企画します。今年度は昨年度に引き続きマイタイムライン作成訓練を企画しました。

各部会には、部会長、副部会長の他、部会の中に区長、副区長が所属します。

各部会とも、年数回会議を開催し活動内容を検討し、工夫しながら地区民の皆さんが大勢参加し、楽しんでいただける活動、行事を作り出しています。



唐子地区納涼盆踊り大会

特殊詐欺にご注意ください！

還付金詐欺

「保険料の還付金がある」
「ATMで手続きができる」

預貯金詐欺

「暗証番号を教えて」
「キャッシュカードを取りかえる」

振り込め詐欺

「風邪をひいた」
「携帯の番号が変わった」

架空料金請求詐欺

「電子マネーの番号を教えて」



被害に遭わないためには・・・

『在宅中でも

留守番電話に設定する』

『ナンバーディスプレイで

相手を確認する』

『お金の話が出たら

電話を切り、家族に相談する』

などの対策をしましょう！

『回覧板』を配布しています

自治会連合会では、自治会で回覧物等を挟むための「回覧板」を定期的に作成しています。

長く使っていて古くなっていたり、雨に濡れてヨレてしまっているものなどがありましたら、新しい回覧板をお渡しすることができます。

新しい回覧板が必要な場合は、下記配布場所の窓口までお越しください。

配布場所

- ・地域支援課（市役所本庁舎2階）
- ・各市民活動センター



ご報告

令和5年10月20日（金）に松山市民活動センターで開催された東松山警察署管内地域安全大会・東松山地区暴力排除推進大会の席上において、東松山自治会連合会が『暴力排除推進功労団体』として表彰されました。



サマーセミナー ～講演会～



令和5年8月24日（木）に、松山市民活動センターホールにおいて「サマーセミナー」を開催しました。講師に、元東京消防庁 小金井消防署長 特別救助隊長の高野甲子雄さんをお迎えし『過去の災害から学ぶ自治会の役割と初動の対処』をテーマにご講演いただきました。

様々な災害現場で活動され、多くの方の人命救助を指揮されてきた高野さんのお話は、いつ起こり得るかわからない自然災害に備え、自分や家族の命を守る知識を身につけることはもちろんのこと、自分たちの地域における災害時の役割等を考える上でとてもよい機会となりました。



高野 甲子雄 さん

スマホ講習会 ～7地区にて9月から10月に開催しました！～

ソフトバンク東松山店様を講師に招き、各地区で自治会長・自治会役員の方を対象にスマホ講習会を開催しました。

実際にスマホに触れながらLINEの機能について学びました。講習会を通して、自治会内の事務作業効率化につなげる一つの手段となれば、また、皆様の情報端末に対する苦手意識を減らすきっかけになれば幸いです。

ご参加いただきました皆様ありがとうございました！



視察研修 ～防災を考える～

令和5年11月17日（金）に、「東京臨海広域防災公園」にて視察研修を行いました。

防災体験ゾーンの「東京直下7.3h TOUR」では、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発生から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーに参加しました。また、防災学習ゾーンでは、首都直下地震の危険性や被害をパネルで確認したり、それぞれの特性や暮らしに合わせた”そなえ”について見学しました。

参加した方からは、「防災は、継続して体験・経験していかないと忘れがちになってしまうので、意識していかなくてはと思う一日でした」との感想もあり、防災について改めて考える研修となりました。



スリーデーマーチパレード

第46回日本スリーデーマーチ最終日の11月5日（日）にパレードが行われ、600人を超える自治会の皆様に参加していただきました。

ご参加いただいた皆様、お疲れさまでした！



花いっぱい写真展

市と共催で、「私のまちの花いっぱい写真展」を令和5年11月17日（金）～23日（祝・木）にピオニウォーク東松山2階にて開催しました。出品いただいた自治会や事業所の花壇、個人宅の庭の写真が会場を彩っていました。



編集後記

コロナ禍で中止していた視察研修は、5年ぶりの実施となりました。移動のバスの中では、防災や地域に関するクイズに答えながら知識を高めたり、視察先では、他の自治会の方と情報交換を行うなど、参加者同士が交流を図る機会にもなりました。



発行：東松山市自治会連合会

【問合せ】

東松山市役所 地域支援課

東松山市松葉町1丁目1番58号

電話：0493 (21) 1435 (直通)

F A X: 0493 (22) 7799



市HP